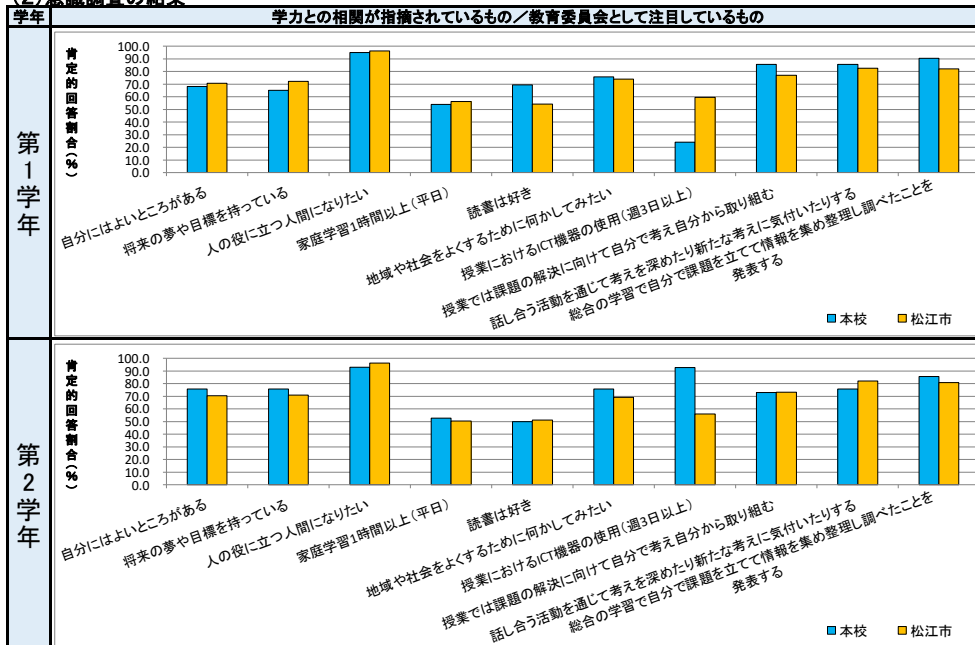


(1)教科調査の結果

| 学年 | 教科 | 分析(成果○/課題●) | 改善策(○) |
|------|----|--|--|
| 第1学年 | 国語 | 成果 ○全体的に見ると、市の正答率と同じ程度か、若干上回っている。 ○「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている」「文章について叙述を基に捉え、要旨を把握している」は市の正答率はもちろん、全国の正答率を上回っている。 | ・説明的文章の学習では、内容について根拠をもとに捉えさせたり考えさせたりする場を多く設定する。 |
| | | 課題 ●「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語の特徴や使い方に関すること」は全国の正答率よりかなり下回る問題が散見される。 ●特に「表現の効果について、根拠を明確にして考えている」「漢字の部首について理解している」が全国や市と比べて低い。 | |
| | 数学 | 成果 ○ほとんどの項目で、市や全国よりも平均正答率を上回っていた。特に、比例・反比例の正答率は高い水準にある。 | ・積極的にドリル学習を取り入れることで、基礎力の向上を図る。 ・文字式の復習をし、様々な問題に触れ、何度も解くことで、文字式に慣れる。そして、苦手意識をなくす。 |
| | | 課題 ●文字式の正答率が全国平均値より6ポイント下回っている。文字式は、苦手だと感じている生徒が多い。また、基礎的な問題の正答率が低い。 | |
| | 英語 | 成果 ○総合的にみると、ほぼ市の正答率を上回っている。 ○リスニングの「さまざまな英文の聞き取り」については全国の正答率を大きく上回っている。 | ・単語テストなどを行い、語彙力を上げる。 ・さまざまな場面を設定し、その場に応じた受け答えを学習させ、力を付ける。 |
| | | 課題 ●語彙の知識・理解の項目の正答率がとても低い。 ●3文以上の英作文は、市の正答率より高いが、場面に応じて書く英作文の正答率は市より低い。 | |
| 第2学年 | 国語 | 成果 ○ほとんどの領域で、市の平均正答率を上回っていた。特に漢字や古文については高い水準にあり、日々の漢字練習や音読などの成果が出ているのではないかと見える。 | ・ひとつの資料だけではなく、複数の資料から情報を集めるという活動を通して、情報を扱う力を高めていきたい。また、長い文章を読むことにも慣れさせるために、様々な種類の教材を使っていく。 |
| | | 課題 ●情報の扱い方に関する領域は、市平均値を下回っている。文章を比較しながら読むことに、課題を抱えている生徒が多いのではないかと考えられる。 | |
| | 数学 | 成果 ○問題の内容の結果でみると、連立方程式は市の平均を上回っている。 | ・数学への取組に意欲的な生徒が多いので、ワークを使って学んだことの復習を積み重ねれば、よい成果が出てくるものと考ええる。 ・自分の考えを記述することに抵抗感なく表現できるようになってきたので、そのことを励ましつつ、知識・技能を育てていく。 |
| | | 課題 ○問題の内容の結果でみると、式の計算、1次関数、図形の性質は市の平均を下回っている。 | |
| | 英語 | 成果 ○観点別にみると、知識・技能の正答率は市よりも上回っている。 ○領域別にみると、聞くことの正答率は市よりも上回っている。 | ・授業の中で、長文を読み取る練習をすること。 ・授業の中で、場面に応じた英作文を書く練習をすること。 |
| | | 課題 ●観点別にみると、思考・判断・表現の正答率は市よりも下回っている。 ●領域別にみると、読むことと書くことの正答率が市よりも下回っている。 | |

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞

成果○：強み/伸ばしたい点 について
課題●：弱み/改善を要する点 について

【第1学年】
○読書好き、課題の解決に向けて、自分で課題を立てての面については市平均を上回っている。特に、読書好きについては、どんどん奨励して指導していこうと考える。
●授業におけるICTの利用は大幅に下回っているので、今後、各教科で指導していく予定である。

【第2学年】
○授業におけるICTの利用は大幅に上回っている。今後、どんどん奨励して指導していこうと考えている。
●話し合う活動を通じて考えを深めたり…については、市平均を下回っている。今後各教科で意図的に話し合う活動を取り入れて指導していこうと考える。

【R7学力調査受検者数】

| | | |
|------|----|---|
| 第1学年 | 63 | 名 |
| 第2学年 | 70 | 名 |

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示